

# 小学校の先生もめざせる！

THE ELEMENTARY SCHOOL TEACHER

提携大学の通信教育を活用  
最大3つの学校種の免許状取得が可能

本学の教職課程と並行して提携大学(下記)の通信教育部協定プログラムに参加し、科目等履修生として所定の単位を修得することにより、小学校教諭一種免許状が取得できる。時間的にも経済的にも相応の負担がかかるので、十分な検討を重ねたうえでの履修が望まれる。本プログラムに関する説明会は1年次の12月頃となる。

1年次での修得単位などを考慮したうえで、本学の教職課程と並行して2年次から受講し、免許取得を目指す。

提携大学	神戸親和女子大学(兵庫県神戸市) 聖徳大学(千葉県松戸市)
費用(概算)	神戸親和女子大学...40~50万円 聖徳大学...約60万円
定員	20名

申し込み・問い合わせ

教育支援課

1号館1階 TEL. 072-641-9723

## LICENSE 各学科の取得可能資格一覧(2011年度入学生以降適用)

学部	学科	中学校教諭一種免許状	高等学校教諭一種免許状
経済学部	経済学科	社会	地理歴史・公民・商業
	ヒューマンエコノミー学科		公民・商業
経営学部	経営学科	社会	公民・情報・商業
	マーケティング学科		公民
心理学部	心理学科	社会	公民
社会学部	社会学科	社会	公民
国際教養学部	アジア学科	社会・中国語・国語	地理歴史・公民・中国語・国語
	英語コミュニケーション学科	英語	英語

## SUPPORT 追手門大学のサポート体制

▶「学校の先生になりたい」あなたをサポート

### 教職支援センター

教員採用試験対策講座、セミナー、学習会といった各種対策や、卒業生教員との交流など追大独自のイベントを主催。教員採用試験に関する個別相談や個別学習プラン作成を助言してもらえるので、教職をめざす学生はまず訪問してほしい。学習スペースも提供。スタッフや受験仲間とともに学ぶことでモチベーション向上につながる。

センター利用時間・問い合わせ時間  
曜日...月水木金 時間...10:00~17:00

個人相談受付時間・問い合わせ時間  
曜日...月水金 時間...10:30~11:30  
12:30~17:00

学習スペースの提供について  
センターに隣接している演習室を利用できます。利用したい方は、上記受付時間内にご連絡ください。

▶2年生・3年生も受講しよう

### 中高教員採用試験 対策講座

教員採用試験を受験予定の2年次以上の学生を対象とする講座。教員採用試験に必要な教職教養と、一般教養を基礎から学習。独学では学習しにくい時事対策や人物対策も徹底することで、苦手意識を取り払って受験できるよう指導する。なお本講座は(株)東京アカデミーの協力で実施。1万円という格安の受講料は魅力である。

受講料 10,000円

定員 30名

協力 東京アカデミー

## 2013年度高等学校教員・競争率(大阪府)



## 2013年度中学校教員・競争率(大阪府)



学校教員は、現在世代交代の時期にさしかかっており、比較的多くの退職者が出ている。そのため人材の需要は以前よりも多くなっているが、それでも左記のような高い競争倍率をマークしており、相変わらず人気の高い職種であることがわかる。また、公立・私立ともに新卒での採用はきわめて難しいのが現状で、2~3年にわたる非常勤講師勤務などを経て、ようやく教諭として採用されるケースがほとんどである。今後は少子化の影響で採用枠も減少傾向にシフトすることが予想され、環境は厳しさを増す。そのなか追大では、教員をめざす学生の夢をかなえるため、支援体制をこれまで以上に強化。難関を突破するため、早い段階からの対策をうながす。

厳しさを増す採用環境  
早期からの対策が不可欠

# 先生を



副学長  
水藤 龍彦  
教職支援センター長



小学校・中学校・高等学校の教師をめざす人をサポートする「教職支援センター」が発足した。経験豊富で教職現場を知り尽くしたアドバイザーが、教職志望者を強力にアシストする。

## めざそう INTERVIEW

1年次から教職のための学習をスタートさせる

追大の学生にとっても教員は人気職種の一つで、1年次の段階に限れば教職に関心をもつ学生は全学で1000名を超えている。一方、追大で取得できる教員免許状は、社会科を筆頭に倍率の高い教科であることもあいまって、実際に教師として活躍する人は少数にとどまっている。そこで教職を志す学生をより強力にサポートするために「教職支援センター」が発足した。これまでも対策講座やセミナーなどを通じて教職志望者を応援してきたが、今後は、それらの取り組みをワンストップで体系的に押し進めていく。

教員採用試験では必要な学習範囲が広いうえに、1次試験に課される一般教職教養においても相当な勉強量が求められる。重要なのは早期からの対策開始である。できれば1年次、遅くとも2年次の夏から対策をスタートさせたいところ。センターには、教職に関する豊富な知識と現場経験をもつセンター担当教員ならびに教職アドバイザーがいる。個別にアドバイスを求められるので、早い段階でセンターを訪れ、採用試験までのロードマップを作成してみよう。

教師は世の中をつくるうえで何より大切な「人材」を育てるといふ素晴らしい仕事。追大の制度をフルに活用して、ぜひとも夢を実現させてほしい。

## ▼中学校・高等学校採用試験対策学習マップ

1年次 START 一般教養を可能な限り多く勉強する。学習範囲の広いものは長期間にわたって学ぶことで力がつく。

2年次 教職教養の授業が本格的にスタートする時期。一般教養の課題となる英・数・国・理・社の対策も必須。

3年次 採用試験対策講座・セミナーなどの学習機会を十分に活用して、採用試験に向けた対策の仕上げを行っていく。

4年次 5~6月に教育実習\*。地域によって異なるが公立は7月頃から採用試験が開始され、結果発表は10月下旬頃となる。

\*実習校によっては45~6月以外に実習を行う場合があります